

東野の地歌舞伎岐阜公演

広報ひがしの

人口1659人
(男)836人
(女)823人
628世帯
(R39.1現在)

関連記事P2・P3



7月11日 ぎふ清流文化プラザ

疫病・悪霊の退散

関連記事 P4



南大門のみなさん

7月11日 津島神社の虫送り

地域の話題

地歌舞伎勢揃い公演

この公演は、県内の三十を超える地歌舞伎保存団体が、ぎふ清流文化プラザを舞台とし、順次演目を披露するものです。

東野歌舞伎保存会は、令和三年七月十一日（日）に公演をしました。

コロナ禍の中とあって、観客を二百人に絞っての公演でした。それでも地元からは多くの人達が駆け付け、精一杯応援しました。

2020地歌舞伎勢揃い公演



演目は、おつしゅうあだちがはら さんだんめ
「奥州安達原 三段目
たまきみやあきてん ば
環宮明御殿の場」

この日に向けて、歌舞伎保存会の方々は何回も夜遅くまで東野コミュニティセンターで稽古をしてしてこられました。



「稽古は嘘をつかない」という言葉があります、その言葉通り、素晴らしい公演でした。

本番までの取り組み

四月 二回 台本読み合わせ

DVDにて確認

五月 四回 立ち稽古

六月 四回 立ち稽古

六月二十六日 通し稽古

七月 三日 通し稽古

（師匠による振り付け指導）

七月 七日 最終稽古

本番に向けての確認

参観された方の感想

東野歌舞伎のみなさんの熱演、本当に素晴らしいかったです。

あの難しい、そして長い演目を、稽古もままならない状況の中で、みなさんよく演じきられたなと感じるばかりです。

観客のみなさまも満足されたと思います。

東野歌舞伎の方々は本当に芸達者な方ばかりで、「役者揃いやな」と感じしました。

久しぶりに素晴らしい舞台を堪能させていただきありがとうございました。

上演後のインタビュー



東野歌舞伎保存会の活動状況

東野歌舞伎保存会は、次の三つを大きな柱として活動をしています。

① 活動の幅を広げる活動

各種イベントで積極的に公演を実施しています。今年四月からしばらく大井宿に入会し、行在所を活用したミニ歌舞伎公演を実施しました。また、いち川旅館やひし屋資料館でも公演実績があります。

② 次世代に継承していく活動

毎年の定期公演会にこども園年長組と小学校一年生を対象にした演目を追加し、幼い子も歌舞伎に親しめる機会を設ける予定です。また、東野小学校や三郷小学校の歌舞伎クラブの指導にも参加しています。

③ 活動を定着させる活動

毎年十月末に定期公演会を開催し、活動の灯が消えないように頑張っています。

今後の課題

- ① 役者・裏方（スタッフ）の増員
- ② 伝統芸能歌舞伎の継承及び後継者の育成

東野の村歌舞伎（恵東座）

昔、東野では秋祭りが行われるころ、八坂神社の下にあった恵東座という舞台で村歌舞伎が演じられていました。上演日になると東野中の人々が割籠に弁当を入れ、それら背負って恵東座に集まってきました。



在りし日の恵東座

入場料はなく、観客の花銭によって費用が賄われていました。東野の人々にとって恵東座の歌舞伎は年に一度の大娯楽でした。

恵東座の舞台が建てられたのは嘉永六年（一八五三年）です。舞台を建てるにあたっては、村の共有林の一番良いものを選んで使いました。

村歌舞伎そのものは恵東座が建てられる以前から存在していました。それまでは八坂神社の拝殿で演じられていたようです。

村歌舞伎の役者を演じたのは、東野の有志達でした。恵東座の歌舞伎役者はたいいどの組にも何人かずついたといわれています。有志の人達は、大井や三郷の舞台に招かれて演じることもありました。また逆に、恵東座の舞台に近隣の村歌舞伎を招くこともあったようです。舞台は何度か改築されていますが、工事の後、再び舞台開きをするときには、名古屋や東京から有名な役者を迎えて、これを交えて村歌舞伎を行うこともありました。（今でも、東京歌舞伎が恵東座に来た時の看板が残っています。）村歌舞伎が消滅する間際になると役者は青年団の人達が務めるようになりました。

戦時中は、戦闘機の部品を作る工場に使われたり、空襲警報時の避難場所になったりと、いろいろな形で使われてきました。

恵東座での村歌舞伎は戦後しばらくはありましたが、歌舞伎がなくなった後も、舞台だけは残り、昭和四十九年に老朽化のため取り壊されました。

東野歌舞伎保存会の皆さんは、この村歌舞伎に再び灯をともし、継承していくことに力を注いでみえます。



歌舞伎的一幕（恵東座にて）

歴史で地域を強くする

津島神社の虫送り

虫送りとは

男（殿）女（姫）の人形に厄や災いを背負わせ、村の外へ送り出す儀式です。東野以外の地域では、大井町の御所の前のものが盛大で有名です。

染戸地区の虫送り

東野染戸地区の虫送りは、若宮・貴船の氏子の上染戸、下染戸、南大門、上大門、下大門、宮の前の五組で一年交代で七月十一日に行います。

七月十一日当番にあたる組は午前中から神社に集まり、境内に「奉納牛頭津島神社氏子中」の幟を立て、神社及びその周辺の草刈り掃除を始めます。

その他一部の人達は拝殿で虫送りの人形と笹（短冊）を作ります。人形は藁で作った殿様と姫様ですが、その大きさは八坂神社のものよりやや小さく六〜七〇cmです。

村から疫病や災いを追い出す

当番の組によって異なりますが、殿様より姫様人形の方がやや大きいことが多いです。顔は紙を巻いて目鼻耳を付け、着物は殿様が白を中心に

（組によっては金・紫・青を使い）、姫様は赤を中心（組によっては銀を使う）とした色紙で仕立てて着せます。また、殿様は、背面に半紙縦半分に切った白紙に「牛頭天王」と書いた幟を持ち、馬に乗るのです。

短冊は、手元の枝を払った竹で、これに赤・白・黄・青・紫・金・銀色などの色紙を短冊にしてこよりで笹に結びつけます。



境内を回る行列

行列は戦前までは子供たちが行っていました。現在では子供の数が少なくなったので大人が主となって行うことが多くなりました。その順序は、「牛頭天王」の幟を先頭に、続いて鉦、短冊、そして殿様、姫様の順とし、それ以外の者は準備に使用した残り物をもってこれに続いていきます。



殿と姫の藁人形

行列は鉦をたたきながら田畑のあぜ道を通って飯沼川が阿木川に合流する近くの柳渚まで行き、ここで川に納めて、厄を追い出して終わります。（現在は環境の事も考慮し、神社の境内を回るのみになっています。）

東野島地区の虫送り

東野島地区の虫送りは、八坂神社の氏子の下沢・中島・北天王前・南天王前・向島の五地区が交代で実施する祭りで前祇園ともいい津島神社と同じ七月十一日実施しています。

当番にあたる組は午前中から神社に集まり神社周辺の山の下刈りを行い、本殿・拝殿・登り段等の掃除も行います。これが終わると虫送りに使用する人形二体と幣束・旗・短冊を作りにかかります。

人形は乗馬した殿様と姫様の二体で、いずれも藁人形です。

準備ができたなら行列が出発します。各氏子を回りながら「送り神送ね。」と呼びながら行進します。各家々ではどんぶりなどに塩水を用意して人形にかけます。最後に阿木川のハイカラ橋辺りで流して終わりとなります。

昔は神に祈るしかありませんでした

地域の話題

岐阜県内では十四日、山間部を中心に

広い範囲で大雨となり各地で住宅への浸水など被害が発生しました。東野でも例外ではなく、十三日の夜半より十四日の未明にかけて断続的に大雨が降り続きました。幸いけが人等の報告はなかったようですが、水路の水が溢れて土砂が流出するなどの被害がありました。

過去の豪雨災害では橋が流されたり堤防が削られたりする大きなものがありました。が、今回はそのような被害はなかったようです。しかし、その後の川の様子を見ると、ところどころに流木が引っかかっている、相当な水が出たことが想像されます。

8・14豪雨



山から流れ出た土砂



飯沼川屋下橋付近

長く居座り続けたことも被害を大きくしたということですが。

テレビのアナウンサーが声を荒げて「絶対に川の様子を見に行かないでください。」と何度も言っています。しかし、実際にザーザーと大雨が降り続けば、「田んぼの水はどうか、水口を止めておけばよかった」とか次から次へと心配事が出てきます。今すぐにでも飛んで見に行きたい気持ちでいっぱいになります。

自然の猛威は想像を超えます。気持ちは焦り落ち着きませんが、一旦荒れ始めれば、落ち着くまで覚悟を決めて動かないことです。それが一番被害が少なくなるのだと思います。

今回のこの大雨は、ちょうど日本列島に沿って停滞する前線に暖かく湿った空気が流れ込んだことが原因です。また、その前線が

飯沼川用水では8・14豪雨により水量が大幅に増え、各所で被害が発生しました

特に、畑田井と中井の取り入れ口が土砂で埋まってしまいました。



飯沼川中井の取水口

水田にはもう少し水が欲しい時期でもあり、池の鯉の為に水が必要でした。

そのため、八月二十八日（土）に組合員の皆さんが出役し、水路の土砂浚えをしました。

大勢で協力したおかげで、割と短時間に水路の土砂はきれいになりました。

しかし、中井の取り入れ口の堰が流され、水位が取り入れ口まで上がらなく、水が取り入れられない状態です。

現在は、上流の畑田井から水を分けてもらい流してもらっている状態です。

災害からの復旧

地域の話題

エゾオオヤマハコベ

エゾオオヤマハコベは北海道には普通に生息している多年草ですが、本州以南では長野県と秋田県にまばらに確認されているだけで、両県とも絶滅危惧種に指定されています。そんな希少な植物が、なんと恵那、それも東野に群生しています。

情報をいただいたのは、市民講座で「東野散歩」の講座の講師をしていただいている赤尾さんです。

立ち止まってじっくり見ないと見過ごしてしまうほど小さい花です。



エゾオオヤマハコベ

恵那市消防団東野分団よりお知らせ

お知らせ



小野川器具庫

昨今の、団員減少に伴い恵那市消防団では、消防器具庫の集約・廃止を検討しております。

東野分団におきましても、団員減少により器具庫等資器材の管理・運営に支障をきたしており、令和3年9月より小野川器具庫が廃止となりますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。尚、有事の際の対応につきましては、今まで通り対応しますのでご安心ください。

同時に、団員募集も行っておりますのでお気軽にお問合せください。

東野地域安全パトロール(10・11月)

金曜日16:00～17:00

10月	
1日	東野こども園育友会
8日	交通安全協会東野支部
15日	東野生産森林組合
22日	東野東雲連合会
29日	東野青少年育成会議
11月	
5日	東野民生児童委員
12日	公務員OB会
19日	恵那市消防団東野分団
26日	東野開発振興会

コミセンの置物として
お借りしました

文芸

花なし山句会自選句

令和三年八月二十日

- ・くるくると花片たたみ木槿散る 市川 芳子
- ・喉元を一気に通る心太 内木伊都子
- ・せせらぎの音にかぶさる蝉時雨 千藤 猛司
- ・鶯草の飛び立ちさうな二輪咲く 千藤 恵三

後期市民講座の受付が始まっています！

開講日まで募集を受け付けますので、東野コミュニティセンターまでお問い合わせください。他コミュニティセンターの講座につきましては、回覧しました『恵那市民大学ガイドブック』をご覧ください。市民講座につきましては、ご意見等ありましたら、東野コミュニティセンターまでお寄せください。

東野コミュニティセンターで開催の講座一覧

講座名	対象	講座内容	回数	時間・初回日
ドローンの世界へようこそ！	一般 10名	操縦したり、見たり、遊んだり、ドローンの魅力にふれてみよう！	2	9：30～11：30 10/26
スポーツ吹矢	一般 5名	性別・年齢を問わず、どなたでも楽しく始められます。腹式呼吸・胸式呼吸で精神力と集中力を高め、健康増進・ストレス解消を図りましょう。	5	13：30～15：30 10/5
郷土の和菓子 栗きんとん	一般 8名	秋と言えば栗、栗と言えば栗きんとん。職人の技を伝授！	1	9：30～11：30 10/6
座ってできる！ シニアのいすヨガ	65歳以上 10名	優しい動きが気持ちいい！椅子を使って簡単・気軽にできます。	8	10：00～11：30 10/13
恵那の家庭料理 鯖の味噌煮	一般 8名	フライパンで簡単！美味しい！家庭料理の定番「鯖の味噌煮」を作ってみましょう！	1	9：30～11：30 11/18
恵那の家庭料理 四海巻き寿司	一般 8名	お正月のおもてなしに。お祝いに、見た目もきれいな「四海巻き寿司」が作れます。	1	9：30～11：30 12/16
恵那の家庭料理 からすみ	一般 8名	ひな祭りには絶対食べたい！「ご当地スイーツ・からすみ」を今年は手作りしてみましょう。	1	9：30～11：30 2/17
体が安らぐ！ プレスウオーク&バレトン	一般 15名	バレエ・ヨガ・フィットネスの3つの要素が入った有酸素系の運動プログラム。初心者でも楽しめる新感覚エクササイズ！	5	13：30～15：00 10/14
楽しく歩こう！ 東野散歩	一般 20名	皆さんと一緒に話しながら、軽やかウォーキング	8	10：00～12：00 10/8
囲碁（初級編）	一般 6名	初心者歓迎。囲碁で脳トレを楽しんでみましょう。	8	14：00～16：00 10/2

作品募集（再掲）

東野作品展、ふるさと写真展は10月26日（火）～11月2日（火）の期間に開催する予定です。

東野作品展

新型コロナウイルス感染防止のため今年度の東野文化祭は中止となりました。しかし、丹精込め制作した作品を発表する場を心待ちにしてみえる方々もおられますので、「東野作品展」として作品を発表する機会を設けました。

展示を希望される方は、東野コミセンまで申し込んでください。

- 申込用紙は東野コミセンにあります。
- 申込締め切りは10月16日（金）の17：00まで。
- 例年出展していただいている団体に所属してみえる方は、団体宛に案内がしてあります。

東野ふるさと写真展

すでにご案内しておりますが「東野ふるさと写真展」の作品を募集しております。締め切りが迫っておりますのでお急ぎください。（今年度は作品展と一緒に展示します。）

- 受付期間 令和3年10月9日（土）まで
 - 受付場所 東野コミュニティセンター（郵送可）
 - テーマ 東野の魅力（東野の風景、お祭り、行事、文化財、自然など）
- 詳しい募集要項は東野コミセンにあります。お気軽にお問合せください。

コミセン花壇

（七月三十一日）

五月より育ててきましたコミセン花壇の野菜が青々と葉を茂らせ、見事なグリーンカーテンを作ってくれました。強い西日を遮ってくれて、快適に過ごすことができています。（八月二十二日）

カボチャの葉もところどころ枯れ始めてきました。ミニトマトも最盛期を過ぎ葉がしおれてきました。

グリーンカーテンも今が最盛期のようです。畑と違い、花壇ということで少し水持ちが悪かったようですが、よくここまで育ちました。



グリーンカーテンのコミセン花壇

「広報ひがしの」の記事が

「研究の動機になりました」

東野小学校三年生の水野真由香さんは、「広報ひがしの」の歴史の記事から東野の遺跡に興味を持ち、夏休みの一研究の題材にしました。夏休みに入ってすぐ東野コミセンへ遺跡のことについて取材にきました。そして八月の中旬、研究の成果をもって再びコミセンを訪れました。大きなパネルに遺跡がまとめられて、ファイルに研究の内容が分かりやすくまとめられて、すばらしい研究が完成していました。

うれしかったのは広報の記事が研究の手助けになったこと、そして東野に興味を持ってくれたことです。

これから一人でも多くの子がふるさと東野に関心を持ってくれることを願っています。



水野まゆかさんの一研究

発行

東野コミュニティセンター ☎ 二六―二五五五
東野地域自治区運営協議会 ☎ 二六―二二四四